

## インフォシス、HFS Top 10 Agile Software Development 2020 レポートで 1 位

バンガロール(インド) – 7月23日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングのグローバル・リーダーである[インフォシス](#) (NYSE: INFY) は、本日、HFS 社の Top 10 Agile Software Development 2020 レポートで 1 位にランクインしたことを発表しました。調査の結果、インフォシスは、アジャイル・デリバリの有力企業であり、競争の激しいアジャイル・サービス市場の先頭を行く豊富な人材プールに支えられた精鋭として評価されています。

本レポートは、インフォシスの技術的専門知識、イノベーションや進化したツールセットに関する能力、および、高度な技術ソリューションを顧客プロジェクトに提供するローカライゼーション・プログラムへの投資を強調しています。インフォシスの分散型アジャイル・ソリューション・ポートフォリオは顧客特有の必要性に合わせてコンテキスト化されるため、顧客はデジタル・トランスフォーメーション・ジャーニーを加速化できます。それに加えて、調査は、アジャイルおよび DevOps の最新の市場傾向、特に、企業や事業者が確実なアジャイル・デリバリの文化を発展させるために行っている取り組みに関するインサイトを提供しています。

**HFS Research 社のリサーチ・バイス・プレジデント Ollie O'Donoghue Research 氏**は次のように述べています。「本質的な成果をもたらす革新的で価値の高いソリューションを構築できる実績あるインフォシスの能力が、顧客に評価されており、今回の調査では総合的に 1 位となりました。とりわけ、インフォシスは、顧客の声という重要基準でも最高位となり、アジャイル・ソフトウェア開発市場において業界屈指の満足度を強調しています」

HFS 社は、顧客の声、実行能力およびイノベーション力という 3 つの主要領域に関して 18 のグローバル・サービス事業者を評価しました。本レポートでは、次の点におけるインフォシスの強みが認められています。



- ・ **豊富な人材プール:** インフォシスは、アジャイル・ソフトウェア開発市場で最大級の人材プールを保有しています。プロジェクトに提供されるインフォシスの技術的専門知識、能力および高度なイノベーション・ソリューションに関する顧客の証言もあります。
- ・ **人材開発:** インフォシスは、Wingspan プラットフォームを活用した全社的なトレーニング戦略および開発努力を通じて人材への投資の実績を明確に示しています。
- ・ **進化したツールセット:** インフォシスは、当領域での豊富な経験や体験と並んで、最適な結果をもたらすための進化したテスト自動化など、強力なアクセラレータを活用しています。
- ・ **ローカライゼーション:** インフォシスは、オンショアとオフショアのデリバリカ構築に注目し、顧客との関係を強化するためにローカライゼーション・プログラムに巨額の投資をしています。

**インフォシスのプレジデント Ravi Kumar S** は次のようにのべています。「企業は急速に進化するランドスケープに取り組んでいるので、どの業界の組織でもレジリエンスとアジリティを実現することが最優先事項です。インフォシスは、アジャイルと DevSecOps による新しい働き方を活用し、デジタル・トランスフォーメーションを行う顧客を適切に支援できます。今回の 1 位の評価は、当社の思想的リーダーシップ、能力、そして、顧客のために業務を推進する戦略の有効性の証です」

レポート全文はこちらからダウンロードできます。 <https://www.infosys.com/services/agile-devops/insights/agile-software-development-rating-2020.html>

## インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーで、46 か国のお客様のデジタル変革を実現しています。ほぼ 40 年に渡り、グローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験から、お客様のデジタル変革に専門的な支援を提供します。たとえば AI による変更実行の優先順位付けを利用して企業がデジタル化を実現できるようにします。また、前例のない業績レベルを提供し、お客様に喜んでいただけるように大規模なアジャイルデジタルで業務を支援します。当社の絶えず学習するという方針に基づいて、革新エコシステムのデジタル技術、専門知識、アイデアが構築、伝達され、継続的な改善が推進されています。



リンク先 <http://www.infosys.com> では、企業が次のステージに進むために、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように支援できるのかをご紹介します。

## セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当および財務的期待を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が存在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2018 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov) でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

## お問合せ先

インフォシスリミテッド 日本支店

マーケティング本部長 安藤 [jo\\_ando@infosys.com](mailto:jo_ando@infosys.com)